

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2000-267639(P2000-267639A)

【公開日】平成 12 年 9 月 29 日 (2000.9.29)

【出願番号】特願 平 11-67680

【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 5/00

G 0 6 F 3/00

G 0 6 F 15/16

G 0 6 F 17/00

H 0 4 N 7/15

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 6 F 3/00 6 5 1 A

G 0 6 F 15/16 6 2 0 H

H 0 4 N 7/15 6 3 0 Z

G 0 6 F 15/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 20 日 (2003.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置および情報処理方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク上の一つのサーバと複数のクライアントとの間で情報の処理を行う情報処理装置において、

前記クライアントは、

複数のメディア情報を時間的空間的に組み合わせることによりプレゼンテーションを再現する情報視聴手段と、

前記情報視聴手段による前記プレゼンテーションの中の特定の空間部分、時間軸方向の一点、若しくは所定の幅を持った領域の少なくともいずれかに所定のマークを指定するマーク付け手段と、

前記マーク付け手段にて指定されたマークのマーク情報を前記情報視聴手段で再現している前記プレゼンテーションと同期がとれる形態で管理する第 1 のマーク情報管理手段と、前記第 1 のマーク情報管理手段が管理する前記マーク情報を前記サーバと通信するための第 1 の通信手段と、を備え、

前記サーバは、

マーク情報をクライアントと通信するための第 2 の通信手段と、

同一の目的で作成された複数のプレゼンテーション間の関係を管理するプレゼンテーショ

ン情報管理手段と、

前記プレゼンテーション情報管理手段により管理されたプレゼンテーション情報をもとに、前記第2の通信手段から受信したマーク情報を前記プレゼンテーション情報管理手段で関連付けられた異なるプレゼンテーションに対するマーク情報に変換するマーク情報変換手段と、

前記第2の通信手段から受信した前記マーク情報および/または前記マーク情報変換手段で変換されたマーク情報を記憶し管理するための第2のマーク情報管理手段と、を備えていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記同一の目的で作成された複数のプレゼンテーションは、再現するメディアの種類とその内容、複数のメディアを表示する時間的空間的な組み合わせ、表示時間の少なくともいずれかが異なることを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記プレゼンテーションは、少なくとも前記複数のメディアの格納場所とファイル名称、表示位置が記述されたシナリオとして定義され、前記情報視聴手段により前記シナリオの記述に従って前記メディアが再生されるものであることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記第1のマーク情報管理手段は、前記マーク付け手段によって指定されたマークに対して再現された前記シナリオおよび前記シナリオに含まれるメディア情報との関係を記述したマーク情報を生成し、前記プレゼンテーション情報管理手段は、同一の目的で作成された複数のシナリオ情報およびそれぞれのシナリオに記述されたメディア情報の関連を保持し、前記第2のマーク情報管理手段は、前記マーク情報をシナリオ情報および/または前記メディア情報に関連付けて管理することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記メディア情報は、時間軸を持ったストリームメディアを含むことを特徴とする請求項4記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記マーク情報は、位置情報、時間情報の少なくともいずれかを有し、前記マーク情報変換手段は、あるプレゼンテーション再現時に再生されたメディア情報に付与されたマーク情報の位置情報、時間情報の少なくともいずれかを変更することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記マーク情報変換手段は、前記プレゼンテーション情報管理手段に管理されているシナリオの一つを前記クライアントに配信するとき、前記マーク情報管理手段に管理されているマーク情報を当該シナリオによるプレゼンテーションに対するマーク情報に変換することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項8】

ネットワーク上の一つのサーバとの間で情報の処理を行う情報処理装置において、
複数のメディア情報を時間的空間的に組み合わせることによりプレゼンテーションを再現する情報視聴手段と、

前記情報視聴手段による前記プレゼンテーションの中の特定の空間部分、時間軸方向の一点、若しくは所定の幅を持った領域の少なくともいずれかに所定のマークを指定するマーク付け手段と、

前記マーク付け手段にて指定されたマークのマーク情報を前記情報視聴手段で再現している前記プレゼンテーションと同期がとれる形態で管理するマーク情報管理手段と、

前記マーク情報管理手段が管理する前記マーク情報を前記サーバと通信するための通信手段と、

を備えていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項9】

ネットワークを介して複数のクライアントとの間で情報の処理を行う情報処理装置において、
マーク情報を前記クライアントと通信するための通信手段と、
同一の目的で作成された複数のプレゼンテーション間の関係を管理するプレゼンテーション情報管理手段と、
前記プレゼンテーション情報管理手段により管理されたプレゼンテーション情報をもとに、
前記通信手段から受信したマーク情報を前記プレゼンテーション情報管理手段で関連付けられた異なるプレゼンテーションに対するマーク情報に変換するマーク情報変換手段と、
前記通信手段から受信した前記マーク情報および／または前記マーク情報変換手段で変換されたマーク情報を記憶し管理するためのマーク情報管理手段と、
を備えていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】

ネットワーク上の一つのサーバと複数のクライアントとの間で情報の処理を行う情報処理方法において、
前記クライアントのマーク付け手段がプレゼンテーションの中の特定の空間部分、時間軸方向の一点、若しくは所定の幅を持った領域の少なくともいずれかに所定のマークを指定して前記プレゼンテーションに対するマーク付けを行うステップと、
前記クライアントのマーク情報管理手段が前記マーク付け手段にて指定されたマークのマーク情報を前記サーバに送信するステップと、
前記サーバでは受信した前記マーク情報を、マーク情報変換手段が同一の目的で作成された異なるプレゼンテーションに対するマーク情報に変換するステップと、
前記マーク情報変換手段が変換された前記マーク情報を前記クライアントに送信するステップと、
を有して同一の目的で作成された複数のプレゼンテーション間で同期がとれるように管理することを特徴とする情報処理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は情報処理装置および情報処理方法に関し、特にサーバから提供される音声、動画、静止画、アニメーション、テキスト、グラフィックスなど、ストリーミングメディアを含むメディアミックスによって構成される（マルチウィンドウ）プレゼンテーションに対して与えられるマーク情報をクライアントが共有できるようにした情報処理装置および情報処理方法に関する。